資料 | - | 進行管理調書

主管室·部/課/係	室·部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびプロモーション係
担当者	広瀬 -	-弥·野々垣 吉輝	直通	26-3916	内線	

①整理番号 章		4	節	I	具体的施策No. 施策2	各	②6. 遠隔·ICT学習環境や教材備品の整備①				
②事業No.事業名 I 45.ICT機器を活用した教育の推進事業 事業実施 期 間 R3		~	R7								
③新規·継続 継続 ④事業区分 単独 国補助率 - 府		府補助率	-								
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)											

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 英田を なくそう	2 ^{焦翅を} ゼロに	3 すべての人に 使集と提社を	4. 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに もしてクリーンに	8 数さがいる 延続成長る	9 卒業と被称革動の 単盤をつくかう
/Ì¥╈╈ŧĎ	(((<i>-</i> ₩ ^		° @	<u> </u>	- \overline	M	
10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み焼けられる まちづくりを	12 つくる責任 つから責任	13 無核変形に 具体的な対策を	14 塩の最かさを 申るう	15 株の豊かさも なみう	16 Ŧ#622E8	17 パートナーショブで 日性を定成しよう	
√	▄█⋬ਛ	CO			♣ ≈		889	0

⑦事業の概要及び目的

遠隔・ICT学習環境など教育の情報化を進めるため、インターネット環境及びタブレットの整備を推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標值
	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整 備	30,015,500	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
R3	実	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	29,335,350	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	績		達成度	100 %
		達成度(R3年度	~R7年度累積)	20 %
	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整 備	73,400,000	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
R4	実			
	績		達成度	%
		達成度(R3年度	~R7年度累積)	%
	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	74,400,000	ネット環境の整備: 100% タブレットの配備: 100% ウェブ会議システムの整備: 100%
R5	実			
	績		達成度	%
		達成度(R3年度	~R7年度累積)	%
	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整 備	70,700,000	ネット環境の整備: 100% タブレットの配備: 100% ウェブ会議システムの整備: 100%
R6	実績		*-**\	0/
	小 貝	** # # (D2/T #	達成度	%
		達成度(R3年度	~R7年度系積)	% ネット環境の整備: 100%
	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整 備	70,900,000	イット環境の登備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
R7	実			
	績		達成度	%
		達成度(R3年度	~R7年度累積)	%

標)の具体的な考え方

活動指標(アウトプット指 ICT教育に必要なインターネット環境を整備すべき学校及び活用する児童数に対する整備・配備等の割合。

		指標	(成果)指標值			
	間をた目標		①100% ②100%			
R3			①56% ②58%			
R4	実績					
R5	実績					
R6	実績					
R7	実績					
	令和7年度における達成度					

	ICT機器を活用した教育の推進を図るため、すべての児童生徒にインターネット及びタブレットの活用が可能な環境の整備を 進めてきた。その環境を活かしたタブレットの活用状況を定量的な成果指標とする。
(株)の兵体的なろんの	近は1くさん。(V)水坑とねり UにノノレカFV)ね用化水と圧重りが水水1Hfxとりる。

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

	インターネット環境の整備にあたっては順次計画的に整備を行い、タブレットの配備状況や今後の配備計画等を検討する中で、円滑な配備を行うことができた。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

資料1-2進行管理調書

主管室·部/課/係	室·部	教育委員会	課	学校給食センター	係	学校給食センター
担当者		大西正明	直通	24-3833	内線	

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名		28.安全・安心で		安心で美味し	い小学校給食	の提供
②事業No.事業名	1.	49.学校約	食管理	事業、給	食提供事業		事業実施期 間	5	R3	~	R7
③新規·継続 維続 ④事業区分 単独 国補助率 - 府補助3		府補助率	-								
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)											

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 ************************************	0	2 ###	3 まべての人に 個用と同任を	4 型の高い投資を	5 次式ンダー不等を (大変形しよう)	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 tan-anger	8 野きがいち 程用成果も	9 母親を対象を持つ 母親をマイグラ
10 APBORTE	0	11 EARIFFANS	12 248 A H	13 集体全和に 具体的な対象を	14 #05006	15 Rothe 6	16 TREASE	17 #H#######	0

⑦事業の概要及び目的

- ・市内17小学校及び義務教育学校(前期課程)の学校給食業務(副食の提供)を行います。
- ・安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食センターにおける給食調理・配送・食器や食缶類の洗浄・消毒を確実に行います。
- ・地場産物の活用、亀岡産京野菜を利用する等「安全・安心で美味しい給食」の提供を行います。
- ・学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備を行います。
- ・食中毒事故等ゼロを継続します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標值
	計画	①地場産物を活用した「安全·安心で美味しい給食」の提供 ②学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新·整備	①106,150,000 ②41,265,000	①給食の提供 ②設備·機器の計画的更新
R3	実	①地場産物の活用、亀岡産京野菜を利用する等「安全・安心で美味しい給食」の提供をした。 地場産品:亀岡産キヌヒカリ100%、亀岡産野菜27.7%使用 ②厨房機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組んだ。	①106,150,000 ②46,214,832	①年間給食185日提供 ②設備・機器の計画的更新
	績		達成度	
		達成度 (R3年度~	~R7年度累積)	20 %
	計画	①地場産物を活用した「安全・安心で美味しい給食」の提供 ②学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備	①107,666,000 ②59,850,000	①給食の提供 ②設備・機器の計画的更新
R4	実			
	績		達成度	%
		達成度(R3年度~	~R7年度累積)	%
	計画			
R5	実			
	績		達成度	%
		達成度(R3年度 ²	~R7年度累積)	%
	計画			
R6	実			
	績		%	
		達成度(R3年度 ²	~R7年度累積)	%
	計画			
R7	実			
	績		達成度	%
		達成度(R3年度~	~R7年度累積)	%

活動指標(アウトプット指
標)の具体的な考え方

学校給食においては、年間を通じて給食(副食の提供)を安定して提供する必要があるため。

			指標	(成果)指標値	
期は通じな	間をた目標	食中毒等σ	争故件数	食中毒等の事故件数	O件
R3	実績	食中毒等 <i>0</i>	事故件数	食中毒等の事故件数	O件
R4	実績				
R5	実績				
R6	実績				
R7	実績				
			令和7年度における達成度	%	
		フトカム指 よ考え方	学校給食においては、安全・安心な給食を提供する必要があるため。		
⑩達成	え度を上	げるためにコ	C夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など		
達成度を上げるために工 夫した点や改善した点			バコテンヒーター修繕・グランドケトル修繕(2機)等を事施しました。		
進行上の課題や問題点					
変更した理由					
その他					

資料 I - 3進行管理調書

主管室·部/課/係	室·部	教育部	課	学校教育課	係	学事係
工日王 即/ 欧/ 小	포 마	37 13 14	DK.	1 1/2 1/2 1/2 1/2	1213	2.4 1/4
扣		井内 唐博	直通	25-5053	内線	3733
12 2 2		71 I J /3K T	旦地	23 3033	1 1 1/25	3733

①整理番号	章	4	節	ı	具体的施策No. 施策》	各	29.	安	じして食せる	中学校昼食の	充実
②事業No.事業名 150.中学校通			交選択制	デリバリー	·弁当(昼食提供)事業		事業実施期 間	5	R3	~	R7
③新規·継続		継続	④事	業区分	単独	国	補助率		-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)											

⑥事業が目指すSDGsの目標

英国を なくそう	2 #at	3 サベての人に 発展と軽組を	4 質の高い教育を かんなに	5 ジェンダー半等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーもみんなに そしてクリーンに	8 着きがいる 経済成長も	9 建業と放析単領の 基盤をつくろう
ŇŧŶŶŧŤ	"	- ₩ •		° ૄ *	Q	\overline(111	
10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み低けられる まちづくりを	12 つくる食性 つかう戻性	13 共産主政に 具体的な対策を	14 森のまかさを するう	15 極の豊かさも 守みう	16 TREWER	17 パートナーショブで 日世を企成しよう	
(\$)		CO			♣ ≈		&	

⑦事業の概要及び目的

中学生が心身の健康を増進する健全な食生活を実践するためには、家庭、学校、地域が連携して食育の推進に取り組んでいく必要があります。 このため、子どもたちに栄養バランスの摂れた食生活を考える機会を提供するとともに、保護者の負担軽減を図ります。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	335,250円	年1回
R3	実	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	294,700円	年1回
	績		達成度	100 %
		達成度(R3年度	~R7年度累積)	20 %
	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校 年生を対象とする無料試食会の実施	338,750円	年1回
R4	実			
	績		達成度	%
		達成度(R3年度	~R7年度累積)	%
	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校 年生を対象とする無料試食会の実施		年1回
R5	実			
	績		達成度	%
		達成度(R3年度	~R7年度累積)	%
	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校 年生を対象とする無料試食会の実施		年1回
R6	実			
	績		達成度	%
		達成度(R3年度	~R7年度累積)	%
	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校 年生を対象とする無料試食会の実施		年1回
R7	実			
	績		達成度	%
		達成度(R3年度	~R7年度累積)	%

標)の具体的な考え方

活動指標(アウトプット指 | 毎年度、5月~6月に開催することとしている全中学校 | 年生を対象とするデリバリー弁当無料試食会の 開催実績を、定量的な活動指標とする。

		指標	(成果)指標值
		① 日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	①I20食 ②80%
R3		① 日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	①61.3食 ②57.7%
R4	実績	① 日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
R5	実績	① 日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
R6		① 日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
R7	実績	① 日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
		令和7年度における達成度	%

成果指標(アウトカム指	当該.
	つ、生
標)の具体的な考え方	的なな

当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの生徒にデリバリー弁当を注文していただくことが必要であり、かつ、生徒のデリバリー弁当に対する認知度が高くなければならないと考え、試食会を実施し、その際のアンケート結果を定量 的な成果指標とする。

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工 夫した点や改善した点		
進行上の課題や問題点		
変更した理由		
その他		

資料1-4進行管理調書

1	主管室·部/課/係	室・部ま	ちづくり推進部	課	桂川·道路交通課	係	広域事業·交通係
	担当者	服音	邸 均史	直通	25-5070	内線	3372

①整理番号	章	7	節	2	具体的施策No. 施策	名	214.	地域の	の協働と連携で支	的な公共交通ネットワ え合う公共交通体系の よる公共交通の利用	の構築
②事業No.事業名 329.公共交通			を通の利	便性向上			事業実施 期 間	<u> </u>	R3	~	R7
③新規·継続 継続			④事	業区分	一部補助	国	補助率		_	府補助率	50%
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)											

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 英国を なくそう	2 ### ###	3 すべての人に 健康と機社を	4. 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー 平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーキみんなに もしてクリーンに	器 競きがいる 延続成長を	9 卒業と放射革新の 基盤をつくろう
Ħ¥╈╈ŧĦ	(((- W •		⊜*	Δ	\overline{\over	M	
10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる 乗ちづくりを	12 つくる典性 つかう単位	13 無保放物に 具体的な対策を	14 moderae	15 株の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パードナーシップで 日報を連載しよう	
√ ⊕►		©			♣ ≈		&	0

⑦事業の概要及び目的

地域活性化への貢献や観光振興による交流人口の拡大を促進できる総合的な公共交通ネットワークの形成を推進します。

人口減少や高齢化が進む中、公共交通空白地域を解消し、地域主体型交通の導入を促進するなど、地域住民、交通事業者、行政が協働し、需要と運行のバランスのとれ た持続可能で交通弱者に配慮した公共交通体系の構築に努めます。

環境負荷の軽減や健康、経済的側面からもモーダルシフト(環境負荷の低い輸送・移動手段への切り替え)を推進し、公共交通の利用促進に努めます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

計画			取組	事業費(円)	(活動)指標值
R3 東			②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施	120,399,000	②支援団体との協議・調整
選成度 (R3年度~R7年度累積) 20 % 選成度 (R3年度~R7年度累積) 20 % ②大田のアイヤ改正に合わせコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ③大田のアイヤ改正に合わせコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ③大田のアイヤ改正に合わせコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ③東田体との協議・調整 ③ル学校における交通環境学習の実施 ②支援団体との協議・調整 ③ル学校における交通環境学習の実施 ②支援団体との協議・調整 ②支援団体との協議・調整 ②支援団体との協議・調整 ②支援団体との協議・調整 ③ル学校における交通環境学習の実施 ②支援団体との協議・調整 ③ル学校における交通環境学習の実施 ②支援団体との協議・調整 ③ル学校における交通環境学習の実施 ②支援団体との協議・調整 ③ル学校における交通環境学習の実施 ②支援団体との協議・調整 ③ル学校における交通環境学習の実施 ②支援団体との協議・調整 ③東日校以上 ②支援団体との協議・調整 ②本日校以上 ②支援団体との協議・調整 ②本日校以上 ②支援団体との協議・調整 ②本日校以上 ②支援団体との協議・調整 ②本日校以上 ②支援団体との協議・調整 ②本日校以上 ○ ②支援団体との協議・調整 ②本日校以上 ○ ②支援団体との協議・調整 ②本日校以上 ○ ②支援団体との協議・調整 ②東田校以上 ○ ②支援団体とのは基本は関本を対しませんと、 ○ ②支援団体と、 ○	R3		②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施	117,493,217	②支援:1団体、協議・調整:3団体
計画		績			
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本			達成度 (R3年度	度~R7年度累積)	
達成度 第			②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施	134,596,000	②支援団体との協議・調整
選成度 (R3年度~R7年度累積) 96 計画	R4				
計画		績		~	• =
R5				度~R7年度累積)	` -
実績 達成度 % R6 計画 ①JRのダイヤ改正に合わせコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 ②グ援団体との協議・調整 ③年1校以上 ま績 達成度 % R7 計画 ①JRのダイヤ改正に合わせコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 ③小学校における交通環境学習の実施 ②グ援団体との協議・調整 ③年1校以上 R7 実績 達成度 %			②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施		②支援団体との協議・調整
注	R5				
R6 計画の (1) Rのダイヤ改正に合わせコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 (2) 地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 (3) 小学校における交通環境学習の実施 (3) 年1 校以上 達成度 (R3年度~R7年度累積) R7 計画の (1) JRのダイヤ改正に合わせコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 (2) 地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 (3) 小学校における交通環境学習の実施 (3) 小学校における交通環境学習の実施 (3) 小学校における交通環境学習の実施 (3) 小学校における交通環境学習の実施 (3) 年1 校以上 連成度 (8) 年度 (8)		績		達成度	
R6			達成度 (R3年度	度~R7年度累積)	%
実績 達成度 % R7 ①JRのダイヤ改正に合わせコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 ③小学校における交通環境学習の実施 ①ダイヤ改正年1回 ②支援団体との協議・調整 ③年1校以上 ②支援団体との協議・調整 ③年1校以上 業績 達成度 %			②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施		②支援団体との協議・調整
達成度 (R3年度~R7年度累積) 達成度 (R3年度~R7年度累積)	R6				
計画 ①JRのダイヤ改正に合わせコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 (②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 ③東日校以上 ②支援団体との協議・調整 ③年日校以上 R7 実績 達成度 %		績		~	* =
R7 実				度~R7年度累積)	, ,
実 達成度			②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施		②支援団体との協議・調整
	R7				
達成度(R3年度~R7年度累積) %		績			* -
			達成度 (R3年度	度~R7年度累積)	%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

総合的な交通ネットワーク形成するためにJR駅との接続を考慮したダイヤ改正を適宜図る必要がある。

公共交通空白地域を解消し、地域公共交通を確保・維持していくため、地域住民と協働することが持続可能な公共交通体系の構築につながるため、地域主体型交通に対する支援が必要である。

環境にやさしい交通行動への転換を推進するため、市民に対して環境に関する情報提供や車社会から公共交通への利用転換を促す働きかけを推進する。

		指標	(成果)指標值
期間を通じた目標		コミュニティバス・ふるさとバス利用者数 地域主体型交通の支援・協議団体数	225,000人以上 支援:5団体以上
R3	実績	コミュニティバス・ふるさとバス利用者数の維持 地域主体型交通の支援・協議団体数	7 ,639人 支援: 団体、協議·調整:3団体
R4	実績		
R5	実績		
R6	実績		
R7	実績		
		令和7年度における達成度	%

成果指標(アワトカム指標)の具体的な考え方	バス交通関連経費の大部分を占めるふるさとバス、コミュニティバスの利用者とする。 (新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度実績225,127人を目標とする。) 公共交通が乏しい市内周辺部において、日常の生活交通を支える地域主体型交通の5団体以上の実施が望ましい。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工 夫した点や改善した点	令和3年度 ・ふるさとバス別院コースの一部区間でフリー乗降を追加実施した。 ・地域主体型交通を促進するため、「亀岡市交通空白地等地域生活交通事業補助金交付要綱」を一部改正した。 ・バス交通の利用促進や市内交通渋滞緩和のため、市民ノーマイカーDayを5日間実施した。
進行上の課題や問題点	公共交通の利用者数は、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響等の社会情勢に大きく左右される。
変更した理由	
その他	